

▲福田村事件を歩く①

10/14 「ヒロシマ連続講座」主宰者の竹内良男さんが企画した千葉県旧福田村(現・野田市、以下「福田村」)へのフィールドワーク。



雨が心配されたけれど晴れ男の私がいれば大丈夫 😊

新宿は丹下憲孝設計のクオインタワー前に集合し、秋空の下バスで福田村へ

向かう。

遠くに臨むスカイツリーを見て竹内さんは「あの先端あたりが 広島原爆が炸裂した高度だ、と説明しています」と語る。

▲福田村事件を歩く②

今回訪ねたのは、現在大ヒット公開中にして13日に釜山国際映画祭ニューカレンツ部門の最優秀作品賞を受賞したばかりの森達也監督『福田村事件』の舞台だ。

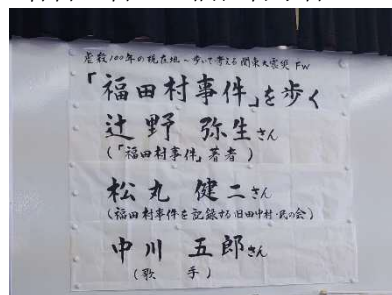
香川の被差別部落出身の行商団一行が関東大震災発生から5日後の1923年9月6日。

この地で朝鮮人ではないかと疑われ15人中9人が自警団に殺害された。

被害者には幼児や妊婦も含まれ胎児も含めたら犠牲者は10人だ、と強調する人もいる。

映画『福田村事件』が生まれたのは不思議なめぐり合わせによるものだった。

2002年、偶然福田村事件のことを知った森達也監督はドキュメンタリー製作をTV局数社に持ちかけたが実現しなかった。ただ著書に書いた福田村事件のことをフォークシンガーの中川五郎さんが知り、『1923年福田村の虐殺』を作詞作曲する。それをたまたま聴いたプロデューサーの井



上淳一氏が映画化を決意し、脚本家の荒井晴彦さんとともに森達也さんに監督を依頼し映画製作につながったというのだ。

そしてこの日は、映画の核心部分を支えた『福田村事件 関東大震災・知られざる悲劇』(五月書房)を著した辻野弥生さん(82)と映画化のきっかけとなった歌を作った中川五郎さんが福田村に揃うという奇跡のような日。

森達也監督にも声をかけたのだけど残念ながら国際映画祭で海外滞在中で来られず。

でも受賞したのだからめでたい…!

▲福田村事件を歩く③



辻野弥生さんとはとも80歳を超えているとは思えないキュートな方だ。

1999年から福田村事件の調査に取り組んだそうだが、資料は乏しく、野田市

史にも一切記述がなく住民からも取材を拒まれ、取材は難航したという。

ところが書き始めた頃に、福田村の人が辻野さんを突然訪ねてきて、「野田の人間には書けないのであなたが書いて欲しい」と言って被害者の相関図等が記された資料を預けたのだという。

野田市内では、何度も通った地元の圓福寺の住職(故人)だけが重い口を開いてくれた。

寺で犠牲者のために朝晩勤行していると語ってくれ、気持ちが救われたという。

実は現場が福田村なので「福田村事件」と呼ばれているが検挙された8人の内4人は隣村の田中村の自警団だったので「福田村・田中村事件」というのが正確だ、ともいわれている。



ちなみに加害者側は「お国のためにやったのに」と悪びれる様子はなく短

い懲役が言い渡されたあと天皇崩御の恩赦で間もなく釈放されたという。

▲福田村事件を歩く④ フォークシンガーの中川五郎さん。

事件のあった地で『1923年 福田村の虐殺』を歌うのは初めてだという。

実に25分に及ぶ“バラッド”(物語歌)は2009年に作ってから明らかになったことをもとに詩の文言も少しずつ修正しているそうだが、この日はまさに最新バージョン 😊 というのも、これまで「三ツ堀(みつぼり)」(地名)と歌っていたが、標識に「三ツ堀」=「みつぼり」とあるのを見つけ濁らないバージョンで歌ったんだとか👏

歌を聴きながら映画のシーンが何度も頭の中で蘇った。

この地で歌うことはやはり特別な感慨がある…と中川五郎さんも歌いながら感じたという。……



胸が熱くなった。

▲福田村事件を歩く⑤

野田市の圓福寺に2003年に建立された福田村事件の慰霊碑。

碑の背面は撮影が禁じられている。犠牲者の名前等から香川の被差別部落を殊



更にSNSで拡散して言い募る差別者がいるからだ。私達は許可を得て前面からの撮影だけ認められたが、許可のない撮影は禁じるなど寺や関係者は神経

を尖らせているのだという。

背面には犠牲者の年齢も刻まれている。1人は「胎児」と刻まれ、二歳、四歳、十八歳…。

6人は二十代。みな若かった。事件から80年経った2003年、遅きに失したとはいえ慰霊碑が建てられたことは意義深い。少なくとも「なかったことにしたい」勢力の思い通りにしないモニュメントだ。

▲福田村事件を歩く⑥ ラスト

香川の行商団のうち9人が殺害された茶屋があった辺り。100メートルほど離れた神社の鳥居の辺りに他の6人がいたという証言が残り、フィールドワークに参加した唯一の地元の方は血しぶきが上がるのを鳥居の辺りにいた6人からは見えたはずだ、と話した。



そこから利根川へと歩く。遺体は川に流されたがのちに警察によって一人を除いて引き上げられたという。

穏やかな利根川の流れに100年前の惨劇がおぼろげに浮かび上がる。

辻野弥生さんは「記載のなかった事件について 市史に記録させたのが 最大の功績」と

知り合いに言われたのだという。「記録に残す」ことこそが犠牲者に報いることなのだと思うと調べ、書いたのだと。

改めてFWの主宰者竹内良男さん、辻野弥生さん、中川五郎さん、「福田村事件を記録する旧田中村・民の会」の松丸健二さん、本当に貴重な時間をありがとうございました…!

…… (大阪在住)